



やまとの安全

令和4年2月25日
奈良県警察本部課
生活安全企画課
(犯罪抑止対策室)

令和3年中

特殊詐欺のアンケート結果

奈良県警察では、

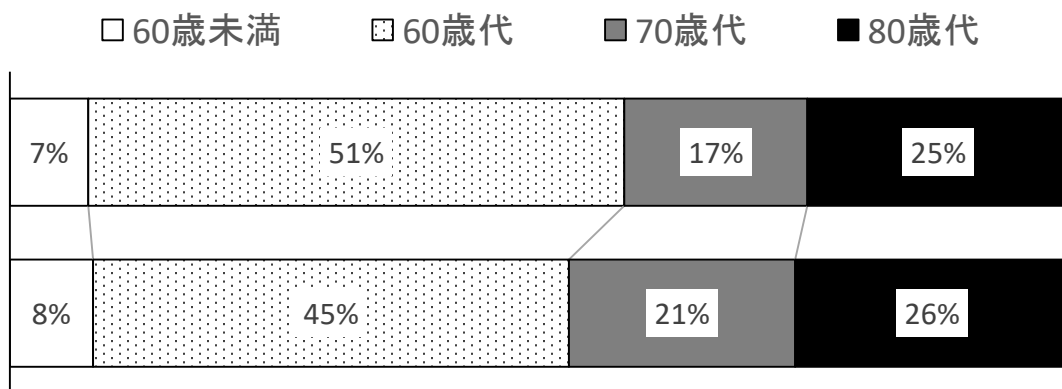
- 特殊詐欺の被害に遭われた方(被害者)
- 被害に遭う前に警察へご相談いただいた方(相談者)

にご協力いただき、アンケートを実施しています。

令和3年中に行ったアンケートの調査結果と被害防止のポイントをご紹介します！

有効回答数	170人
・被害者	81人
・相談者	89人

① 還付金詐欺を中心に「60歳代」が狙われている！ ～いつでも誰でも被害に遭う可能性があります～



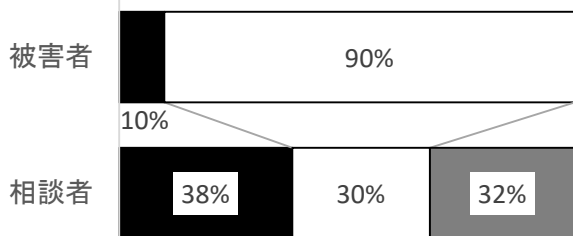
これまでは、「キャッシュカード型詐欺」の増加に伴い、70歳以上の高齢者に被害が集中していましたが、昨年は「還付金詐欺」を中心に「60歳代」の被害が約半数を占めました。

年齢に関係なく、いつでも、誰でも被害に遭う可能性があります。「自分は大丈夫」と思わず、まずは詐欺の手口を知りましょう！

② 誰かに相談することが大事！

Q 誰かに相談しましたか？

■ 相談した □ 相談していない ■ 相談前に見破った

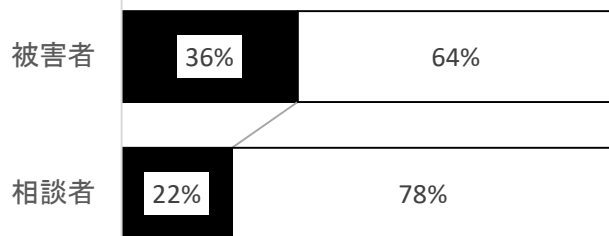


被害に遭わなかった方の38%は、誰かに相談していました。

一人で考えず、誰かに相談することが被害防止につながります。

Q 同居家族はいますか？

■ 一人住まい □ 同居家族あり

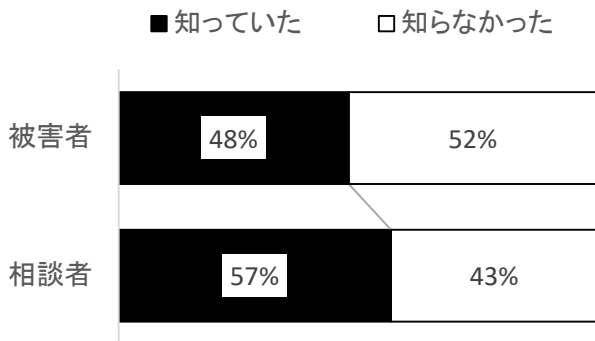


被害者の36%が一人住まいでした。

高齢で一人住まいの家族がいる方は、定期的な連絡を取り、特殊詐欺の手口や対処方法について話題にするなど、お互いに注意しましょう。

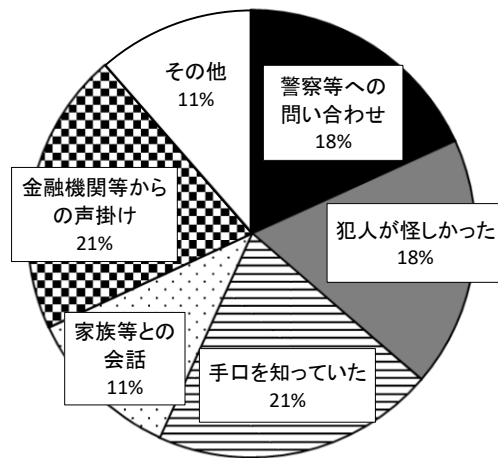
③ 手口を知ることが第一歩！ でも、それだけでは見破れない！

Q あなたが受けた詐欺の手口を知っていましたか？



- 被害に遭わなかった方は、「手口を知っていた」割合が高く、手口を知っていれば、詐欺を見破れる可能性が高まることがわかりました。
- 一方、被害者の48%は、手口を知っていたのにだまされていることから、単に手口を知っているだけでは被害を防げないこともわかりました。

Q なぜ詐欺だと気づいたのですか？
【被害に遭わなかった方（相談者）への質問】

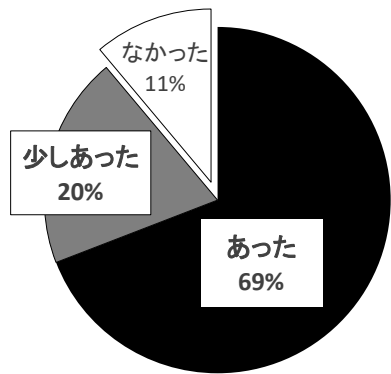


「犯人が怪しかった」や「手口を知っていた」との回答は4割程度で、自分だけで見破った方は決して多くはありませんでした。

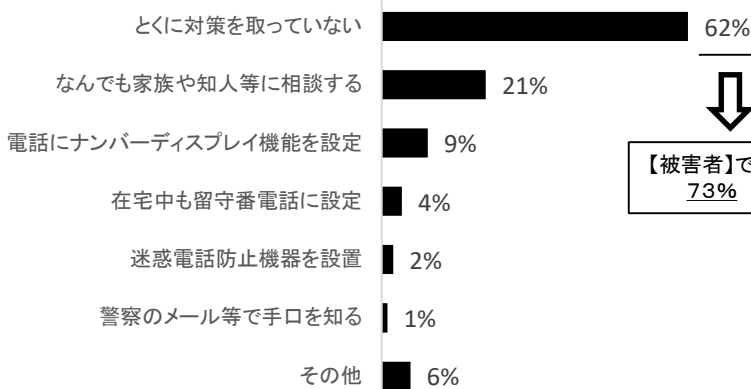
犯人は「だましのプロ」です。具体的な手口を知り、その対処方法を身に付けましょう！

④ 被害に遭わないためには、普段の備え（対策）が大事！

Q 「被害に遭わない」という自信はありましたか？（被害者への質問）



Q 被害防止の対策を取っていますか（複数回答可）



被害者の89%は「自信があった・少しあった」と答えていますが、全回答者の62%（被害者の73%）は、被害防止の対策を取っていませんでした。

「被害に遭わない自信」は一体どこから？ 何の対策も取っていなければ、だまされてしまいます。

被害防止のポイント

- 1 具体的な手口を知り、対処方法を身に付ける
- 2 一人で考えない、誰かに相談する
- 3 固定電話への対策（常時「留守番電話」設定、「防犯電話」の購入）



これって詐欺の電話ですよ？もう切りますよ。警察に連絡します。



電話口でお金のお話が出れば、一人で考えず、誰かに相談してください！